Axial
RETAILING

VEGETABLE OIL INK
植物油インキマークは植物油を使用した印刷インキに表示できるマークです。

アクシアル リテイリング株式会社
新潟県長岡市中興野18番地2 〒954-0193
Tel.(0258)66-6711　Fax.(0258)66-6727
https://www.axial-r.com/

[対象期間]2019年度(2019年4月～2020年3月)※　**[対象範囲]**アクシアル リテイリンググループ企業　**[発行日]**2020年6月
[参考ガイドライン]GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード2016、環境省「環境報告書ガイドライン(2012版)」
[お問い合わせ先]原信ナルスオペレーションサービス株式会社 TQMCSR部 環境CSR室
[TEL]0258-66-8650　[FAX]0258-66-8663　[URL]https://www.axial-r.com/contact/
※一部に対象年度以外のものを含む場合があります。

発行者：アクシアル リテイリング株式会社　印刷：高速印刷株式会社

アクシアル リテイリング株式会社

CSR REPORT 2020



Axial
RETAILING

目　次

会社概要	1
グループ経営理念／グループビジョン／営業概要	3
トップメッセージ	4
毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを ～お客様のニーズに応える店舗フォーマット～	5
毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを ～おいしさ、健康、簡便の追求～	7
毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを ～お求めやすい価格、納得の品質～	9
物流ネットワークの構築	10
より便利なお買い物のために	11
ダイバーシティの推進	13
働きやすい職場づくり	15
現場改善に向けた取り組み	17
地域の一員として	19
コーポレート・ガバナンス	24
環境と人に配慮した店舗づくり	25
持続可能な社会の実現に向けて ～食品廃棄物～	27
持続可能な社会の実現に向けて ～レジ袋の3R活動～	29
持続可能な社会の実現に向けて ～容器包装の見直し～	30
持続可能な社会の実現に向けて ～店頭回収資源～	31
低炭素社会の実現	32
環境会計	33
アクシアル リテイリングのあゆみ	34

編集方針

アクシアル リテイリングは、より多くの皆様から当社をご理解いただくため「CSRレポート」を毎年発行しています。本レポートは、主にSM（スーパーマーケット）事業を中心としたグループ各社の主な活動結果及び進捗を報告しています。なお今年度は当社の活動とSDGs※（持続可能な開発目標）を関連づけました。

※SDGsとは、2015年に国連および日本政府が採択した先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。詳細は27ページをご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本レポートでは、SDGsの17の目標に関連する活動テーマにSDGsのアイコンを掲載しています。

原信　ナルス　FRESSAY

129店舗

2019年10月19日オープン



原信 下飯野店（しもいいの）

2019年11月22日オープン



ナルス 直江津東店（なおえつひがし）

2019年11月15日オープン

フレッセイ 有馬店（ありま）

会社概要

[社名]アクシアル リテイリング株式会社

[本部所在地]新潟県長岡市中興野18番地2

[設立]1967年8月　[資本金]31億5,971万円

[事業内容]
スーパーマーケット事業を中心とした企業集団の持株会社

[HPアドレス]https://www.axial-r.com/

[グループ企業]
株式会社原信／株式会社ナルス／株式会社フレッセイ
原信ナルスオペレーションサービス株式会社／アクシアル レーベル株式会社
株式会社ローリー／株式会社原興産／株式会社アイテック／高速印刷株式会社
力丸流通サービス株式会社／株式会社フレッセイヒューマンズネット
高翔商事株式会社

アクシアル リテイリング　グループ経営理念

我々は毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、より豊かな文化生活の実現に寄与することを目的とする。

経営理念の実現に向かう具体的な方向性を示すため、グループビジョンを定めています。

アクシアル リテイリング　グループビジョン

エンジョイ　アクシアル　セッション

Enjoy! Axial Session♪

グループ各社や個々人が自律的に技量を磨き、全体では調和のとれた活動を行うことで、今まで以上のマスメリットを創出し、お客様に新たな価値をご提供します。

❶品質経営

TQM活動の推進により、商品・サービスとそれを支える仕組みの「品質」を向上し、お客様・地域・社会からより信頼される企業を実現します。

❷環境経営

事業活動を通じて環境課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

❸健康経営

健康的なライフスタイルを実現できる商品・サービスの提供を通じて、お客様の健康づくりのサポートを行います。

従業員の健康増進と働きやすい職場づくりを推進し、長く安心して働ける環境を実現します。

❹技術革新への対応

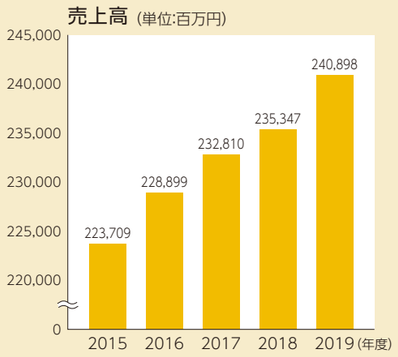
日々進歩する様々な技術の活用に果敢に挑戦し、お客様の利便性と生産性を飛躍的に向上させます。

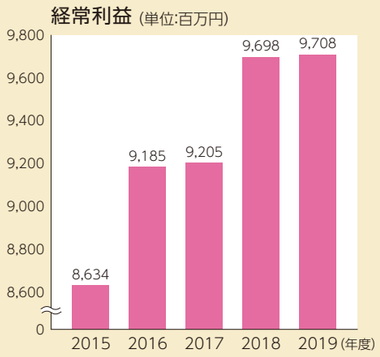
❺人づくり

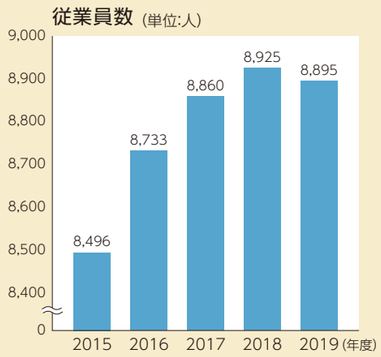
自らチャレンジし、変革を起こせるイノベーティブな人材を育成します。

人材育成を通じて地域・社会の発展にも貢献します。

〈営業概要〉







※パートナー社員は月200時間換算による期中平均人員

大きな挑戦を求められる時代だからこそ息の合ったセッションのようなグループ一体経営を目指します



2020年は新型コロナウイルス禍とともに始まり、新たな生活様式に合わせ個人の生活や企業活動を見直す大きな転換期を迎えることとなりました。

このような時代だからこそ、私たちはライフラインとしての責務を果たすべく、お客様に安全で安心なお買い物をしていただく環境を確保し、より一層の豊かさを実感いただけるよう取り組んでまいります。

当社では「広げよう支援の輪　がんばろう!日本。」のスローガンを掲げ、産地・市場・業務用卸・観光物産メーカー様等の販路拡大を支援する活動を開始しました。有事の中であっても、私たちだからこそできる社会貢献に積極的に取り組んでまいります。

アクシアル リテイリングでは、この度新たなグループビジョンを策定いたしました。

これは、2009年に掲げたAdvanced Regional Chainに続く、新たな時代に向けたグループビジョンで、グループ各事業会社、各エリア、各店、各部署、各人がそれぞれの技量を磨きこみ、自主的・自発的・自律的に活動しながらも、全体として調和がとれた活動により、今まで以上のマスメリットを実現していこうという思いを込めています。

お客様の毎日の生活に豊かさ・楽しさ・便利さを提供していくためには、今までの考え方や仕組みを変えていく必要があります。新ビジョンでは、ITをはじめとする新技術の活用、プライベートブランド(PB)商品・オリジナル商品の強化、プロセスセンターなど生産拠点の拡充と有効活用を成長戦略に据え、品質経営、環境経営、健康経営、技術革新への対応、人づくりを基本政策に掲げ、協働・創造・挑戦にグループ一体となって取り組んでまいります。

ITをはじめとする新技術では、自社開発のアプリをリリースし、チラシやお買い得クーポン、レシピ等、多くのお客様にご利用いただいています。また、キャッシュレス決済への対応としてPayPayを導入し、着実に利用者が伸びています。今後は5GやIoT等、IT技術の変革が加速し生活に浸透していくことから、新技術へタイムリーに対応して、お客様の利便性を高めてまいります。

PB商品・オリジナル商品では、だしの旨みで塩味を控えた「だし香る」シリーズ、おいしさにこだわる「おいしいわけ」、毎日三食の野菜摂取を提案する「365×3サラダライフ」と、当社ならではの独自商品にさらなる磨きをかけました。商品の素材を厳選し、製法にこだわり、商品の良さをお伝えする工夫を重ねることで、売上高、販売数を伸ばしております。

また、直輸入ワインのような新たな取り組みも展開し、品揃えの幅を広げ、ご好評をいただいております。

昨年、初めて富山市内に原信下飯野店をオープンしました。また、フレッセイにおいても、近年力を入れて取り組んでいる独自の商品政策に磨きをかけ、群馬県渋川市に有馬店を開店いたしました。今後もより地域のお客様から支持されるリージョナルチェーンの実現を目指してまいります。

一方で、地球環境への関心が一層高まっています。気候変動や海洋プラスチック汚染等、地球規模での環境課題は深刻さを増しています。レジ袋を含むプラスチック製容器包装材の総合的な使用抑制や食品ロスの削減など環境課題への対応に加え、SDGs(2030年までの持続可能な開発目標)を経営に取り入れ、幅広い社会の課題の解決に取り組んでまいります。

この度「CSRレポート2020」を発行いたしました。皆様からのご理解やご支援を引き続き賜りますよう心よりお願い申し上げます。

アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長

原 和彦

毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを
～お客様のニーズに応える店舗フォーマット～

ニューコンセプトⅡ+（ツープラス）

　原信とナルスでは、お客様の環境変化に合わせて2010年から「ニューコンセプトⅡ」として、新しい商品展開、あかぬけた売場、生産性の向上のテーマを設けたお店づくりを開始し、2015年からは更なる「豊かさ・楽しさ・便利さ」をご提供する「ニューコンセプトⅡ+」の展開を推進しています。

　食生活の多様化に合わせたサラダ提案の充実や、健康ニーズに沿った魚惣菜の提案など、食卓をイメージしやすいように食シーンに合わせた商品づくりと売場づくりに取り組んでいます。



セントラルマーケット

CENTRAL MARKET

　セントラルマーケットは広い売場面積・駐車場と広い商圏をもつことを条件に、専門性、ライブ感、情報発信のコンセプトで幅広いお客様からご利用いただけるように商品と提案を磨きあげたお店です。現在川崎店、河渡店、小出東店の3店舗があります。







11 住み続けられるまちづくりを



エクスプレスマーケット

　少子高齢化や女性の社会進出という環境変化にあわせ、即食・簡便需要を満たし、お手軽にお買い物ができるお店として、エクスプレスマーケットという新しい形態のお店づくりを開始しました。現在、城岡店、旭岡店の2店舗があります。

express market

ちょっと小さめなお店は
お買いものしやすい、広さ。

Smart & Compact

Smart
Short
Smile
Simple
Slim

Simple & Easy

パッと来て、パッとお買いもの。
かんたん、便利に、おいしいものを。







フレッセイMD2.0

　フレッセイでは元総社蒼海店から始まったフレッセイMD2.0における3つのテーマ「美味しさ」「健康生活」「簡単・便利」の磨き上げを進めています。「美味しさの追求と地元再発見」を軸に商品開発を進め、「野菜摂取の推進」や「糖質オフ」などを展開しています。特にお客様ニーズの高い「簡単・便利」においては「時短だけど美味しい」をコンセプトに「ちゃんとKANTAN」コーナーを設置、商品の品揃えを拡大しています。









毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを
～おいしさ、健康、簡便の追求～

おいしいわけ

「おいしく」仕入れ、「おいしく」作り、「おいしさ」を伝える、当社が独自に開発し、自信を持ってお客様にお奨めする商品です。

「おいしさ」を究めたその商品には、こだわる「おいしいわけ」があります。



スマートミール認証

原信とナルスは13学協会から構成される「健康な食事・食環境」コンソーシアム様の審査により、スマートミール最高ランクの☆3の認証を取得しました。

この制度は、厚生労働省の定める基準等を基に栄養バランスのとれた食事（スマートミール）を提供する事業者を認証するものです。

引き続き、栄養バランスに配慮した商品の開発に努めてまいります。



スマートミール基準を満たした弁当


スマートミール認証受賞のようす

健康・簡便ニーズの取り組み

原信とナルスでは「健康」と「簡便」に対する需要の高まりに合わせ、環境変化に対応したオリジナルの商品開発を進めています。









毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを
～お求めやすい価格、納得の品質～

アクシアルブランド商品（プライベート商品）の開発

よりよい商品を、よりお求めやすい価格でご提供するため、お客様の声を活かした商品企画・開発を進めています。



玉ねぎの甘みと肉汁を皮で閉じ込め、一口食べた時においしさが溢れ出る大粒な肉焼売です。そのまま電子レンジで調理可能な便利な商品です。



複数産地のトマト原料とリンゴ酢を使用することで、酸味をおさえ、トマトの甘みと風味を活かした味に仕上げました。



カスタードクリームと生地のバランスを試行錯誤し「濃厚」でありながら「さっぱり」した後味に仕上げました。

お得商品の拡充

お客様が日常的にお買い求めになる商品のうち、常に低価格でご提供している「パワープライス」を、増税前から段階的に増加させ品目数を1.5倍に拡充しました。

また原信とナルスでは、新たに約40品目を1か月から2か月の期間限定で「ロングランプライス」と銘を打ち、価格を引き下げて販売しています。またフレッセイでも「衝撃価格」を導入し、期間限定で日々の暮らしに役立つ商品を低価格で販売しています。



2019年度 商品回収事例

お客様には多大なご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。今後このような事態が発生することがないよう、品質・表示管理を徹底してまいります。

- 「だし香る旨み秋鮭」アレルゲン表示等誤り（原信紫竹山店）
- 「大粒かきと野菜のトマトバジル炒め用」アレルゲン表示等誤り（原信・ナルス33店舗）
- 「三ツ星フライドチキン」アレルゲン表示等誤り（原信・ナルス79店舗）
- 「鶏はらみのネギ塩焼き」アレルゲン表示等誤り（原信村上インター店）
- 「輸入豚肉切り落し（肩、バラ）」消費期限表示誤り（原信村上西店）
- 「アクシアル ふっくら美味しいごはん」製造不具合（全店舗）
- 「パクジュワチキン（黒胡椒）」アレルゲン表示等誤り（原信村上西店）
- 「フルーツミックス」添加物名表示誤り（原信・ナルス61店）
- 「そば寿司セット」アレルゲン表示等誤り（原信新井中川店）
- 「辛旨!Cheeseタッカルビポーク」アレルゲン表示等誤り（原信上田緑が丘店）
- 「アクシアル すっきり低脂肪1000ml」紙パック圧着不良（原信・ナルス全店舗）
- 「岩手県産めぐみ鶏のスパイスローストチキン」アレルゲン表示等誤り（原信亀貝店）

物流ネットワークの構築

ロジスティクスの強化

新潟県長岡市と上越市、群馬県前橋市の3か所に、DC（在庫型物流センター）、チルドセンター（冷蔵物流センター）を配置し、お客様に安定的に、よりお求めやすい価格で商品をご提供できるように努めています。

また、各種商品製造を行うローリー中之島プロセスセンターでは、店舗での生鮮商品の製造を集約させる等、製造プロセスの効率化とロジスティクス機能の強化を進めています。



プロセスセンターによる店舗支援

ローリー中之島プロセスセンターでは、精肉部門、水産部門、ベーカリー部門の一部商品を集約して製造しています。

これにより、店舗では商品製造の作業時間が短縮でき、発生した余力は加工度の高い差別化商品の品揃えに投入しています。

またプロセスセンターからの納品形態も、店舗作業を効率化できるように改善しています。



精肉部門の高速切り落としスライサー作業

より便利なお買い物のために

■原信ナルスアプリのリリース

スマートフォンを使用した、より便利で楽しいお買い物や情報発信を行うことを目的に、原信ナルスアプリを開始しました。チラシやレシピの閲覧、お買い得クーポンの利用、原信ネットスーパーなど、簡単な操作で利用できるアプリです。




アプリのお買い得クーポン

■フレッセイアプリのリリース

フレッセイでは創業日である2月14日にフレッセイアプリをリリースしました。「より便利に、お得、届く」を合言葉に開発を進め、ポイントカードのバーコードをスマートフォンに表示でき、カードレスを実現しました。今後はポイント履歴表示や見やすいチラシへの改善に加え、次世代コミュニケーションツールとしてバージョンアップを進めていきます。



■電子決済の導入

原信とナルスでは、QRコード決済「PayPay」を導入いたしました。全店、全てのレジでご利用が可能です。

QRコード決済は、スマートフォンひとつで決済ができる利便性を備えていることから、原信とナルスにおいてもPayPayの決済比率はクレジットカードと同様、徐々に増加しております。今後も、より便利な決済手段の提供を進めてまいります。



■「ネットで予約」のリニューアル

お寿司、クリスマスケーキ、恵方巻などのご予約や産地直送ギフトの発送をインターネットサイトで承っています。ご自宅や出先などから簡単にご利用できます。昨年リニューアルを行い、より使いやすいサイトになりました。

フレッセイでも一部商品のご予約を開始し、順次取扱商品の拡大を予定しています。



■原信ネットスーパー（新潟県内限定）の拡充

パソコンやスマートフォンから原信の商品をお買い物できるサービスです。商品は午前中に担当者が選別し、その日のうちに県内全域（離島を除く）へお届けします。

外食事業等を営まれているお客様には、より豊富な品揃えで大容量商品も充実している原信ネットスーパーPROを提供しており、法人のお客様限定で口座引落にも対応しています。

これらのサービスは原信ナルスアプリからもご利用できるようになりました。




午前10時までに注文
※新潟市内は13時まで受付。
※原信ネットスーパーPROは前日11時までのご注文で翌日配達。


原信店舗で担当者が商品を選別


その日のうちにお届け

■宅配ロッカーの設置

宅配便ロッカー「PUDOステーション」をアクシアル　リテイリングの一部店舗（原信17店舗、ナルス2店舗、フレッセイ37店舗）店頭に設置しています。

ご自宅で宅配便のお荷物を受け取ることが出来ない場合に、受け取り先としてPUDOを指定することで、お客様にさらなる利便性と快適さを提供し、再配達・ドライバー不足問題など社会的な課題の解消に貢献しています。



PUDOステーション

ダイバーシティの推進

アシスタントチーフ制度

アシスタントチーフは、1日6時間勤務のチーフです。会社が定めた資格等級と技術レベルに達したパートナー社員を部門責任者として任命し、活躍いただく制度です。

パートナー社員のライフスタイルに合わせながら、能力を伸ばし、それを活かすことで働き甲斐を感じていただくとともに有能な人材確保のための制度です。

2019年度では新たに5名がアシスタントチーフに任命され、総人数は150名に達しています。



ナルス 国府店
ベーカリー部門
アシスタントチーフ
葭原朋美



原信 五泉店
デイリー部門
アシスタントチーフ
斎藤由美



フレッセイ 境町店
和日配部門
アシスタントチーフ
明戸淑美

レギュラー社員へのチャレンジ

年1回行われる資格変更試験を受験し合格することで、パートナー社員からレギュラー社員へ任命される制度があります。2000年から制度が運用され、これまでに64名の方がレギュラー社員に任命されました。



ナルス 国府店
FES部門
森友佳梨

シニア人材の活用

定年後再雇用の限度年齢を70歳に引上げ、健康で働き続けられるように環境を整えています。また、アルバイトの再雇用限度年齢を75歳とし、働く意欲のある方が活躍できる場となっています。

外国籍社員の活躍

従業員の採用にあたっては、国籍や出身地、性別に関係なく、その人の持っている能力や人柄で採否を決定し、雇用の多様性に繋げています。現在グループ全体で13名の外国籍社員がレギュラー社員として活躍しています。

従業員の声

チャレンジとチェンジ

お客様のより豊かな生活に貢献するために、新しいことに取り組んでいる原信とナルスの経営理念に共感して就職しました。

異文化での経験を活かし、日本人と違った視点と思考から新たなサービスが提供できるようにチャレンジとチェンジを繰り返しながら取り組んでいきます。

原信 来迎寺店 精肉部門　グエン ティ ハー





新しい視点を活かして

日本にきて、はじめて利用したスーパーはフレッセイでした。群馬県がとても好きなので、フレッセイに就職することを決めました。

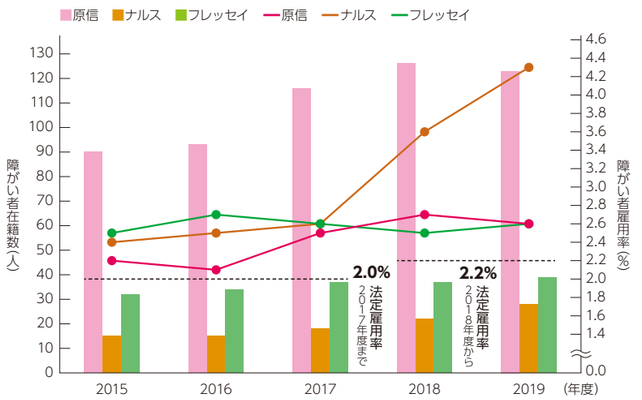
仕事の中で母国語が役立つこともあります。今後もより一層、お客様にもっと安全・安心な食生活を提供することに努力します。

フレッセイ 有馬店 ベーカリー部門　姜（きょう） 南（なん）

障がい者雇用

アクシアル リテイリングでは、障がいをお持ちの方も就業を通じて社会参加することで自立した生活を送ることができるよう、障がい者雇用に努めています。物・心両面での雇用環境整備を継続的かつ計画的に進めており、障がい者雇用率はグループ全事業会社において法定雇用率の2.2%を上回る数値となっています。長岡市立高等総合支援学校様の長期的な育成支援を通じて、入社につながった方もいます。

障がい者在籍者数と雇用率の推移



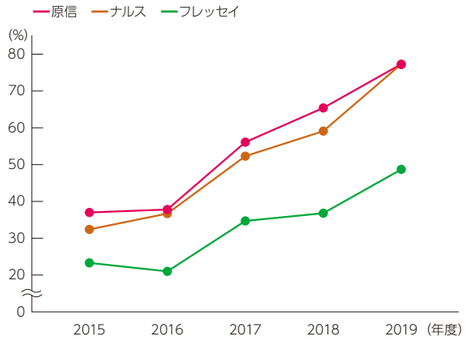
働きやすい職場づくり

有給休暇制度

原信とナルスでは、2018年10月より「半日有給休暇制度」を導入しました。個人の状況にあわせて有給休暇を1日・半日から選択できることで、さらに取得がしやすくなりました。

定例会議の開催頻度の見直しで原資となる時間を生み出し、人員不足店舗への応援体制を構築することで、原信とナルスではレギュラー社員の有給休暇取得率が約77%と昨年度よりもさらに改善されました。

有給休暇取得率推移（レギュラー社員）



育児介護休業制度

育児や介護と仕事を両立し、働き続けることができるよう、育児介護休業制度を設けています。原信とナルスでは、これから出産を迎える従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催しています。制度の説明の他に、産休・育休を経て復帰した社員による体験談の発表を行っています。一人として同じではない出産時の体験や復帰後の仕事と育児を両立するコツなど経験者だからこそ話せる内容が毎回好評です。

また、グループ全体で女性だけでなく男性の育児休業取得への関心が高まっており、2019年度は原信7名、ナルス1名の男性が育児休業を取得しました。

従業員の声

子供の成長を日々実感

第2子誕生をきっかけに1か月間の育児休暇を取得しました。第1子とは一緒にいる時間が増えることで大喜び。日々話す言葉や遊びが増えていく様子を感じることができ、成長を日々実感することができました。

第2子は産まれてすぐ自宅に戻ってきたことで、第1子のときにはできなかった育児の手伝いができ、育児の大変さや楽しさを知ることができ充実した育児休暇を取得することができました。

原信ナルスオペレーションサービス TQMCSR部 TQM推進室 主任　吉田陽平





充実した子供たちとの時間

第1子で育児休暇を取得して、多くの時間を子供と過ごせ、子供の成長を実感できたので、第2子も子供たちの成長を見守りたいと思い育児休暇を取得しました。

今回も多くの時間を子供たちと一緒に過ごせ、お出かけも沢山できて、良い思い出がいっぱいできました。

このような貴重な時間を与えてくれ、協力してくれた周りの人たちに感謝しています。

フレッセイ クラシーズ新前橋店 チェッカー部門　丸山智子

ハッピー・パートナー企業登録制度

新潟県では、仕事と家庭生活などが両立できるよう職場環境を整え、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」として認定しています。

原信とナルスは「ハッピー・パートナー企業」の認定を受けており、さらに男女がともに働きやすい職場の環境の整備に取り組んでいます。

くるみん認定

次世代育成支援対策推進法にもとづき厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定した証が「くるみんマーク」です。ナルス（2013年に認定）に続き、原信も2017年にくるみん認定を受けました。今後も、仕事と子育てを両立させることができ、従業員が働きやすく、その能力を十分に発揮できる職場環境の整備に取り組んでまいります。



くるみんマーク

「にいがた健康経営推進企業」認定

新潟県では、従業員等の健康づくりに積極的に取り組む企業を「にいがた健康経営推進企業」として登録し、取り組みを支援しています。

原信とナルスでは、2019年11月「にいがた健康経営推進企業」に登録し、従業員が健康でいきいきと働くことができるよう、メンタルヘルス対策などの推進に取り組み、働く世代の健康づくりの促進を図っています。

通報相談窓口、ヘルプライン

アクシアル　リテイリングでは従業員からの通報・相談窓口を設けています。不正違法行為やハラスメント行為を目撃した人、困っている人から相談を受け付け、問題の解決と職場環境の改善に取り組んでいます。

メンタルヘルプライン

従業員がこころや体に不調を感じ、「つらい気持ちを聞いて欲しい」「誰に相談したらいいかわからない」時の相談窓口として「メンタルヘルプライン」を設置しています。

担当者が話をお聞きして、カウンセラーへの相談や医療機関などの受診を含め、解決の方法を一緒に考えます。

関連会社の取り組み　株式会社フレッセイヒューマンズネット

【障がい者の雇用・人材派遣を行う特例子会社】

保護者職場見学会開催

フレッセイヒューマンズネットでは、障がいをお持ちの方の職場定着のため、働きやすい環境を整えるとともに、保護者の方向けに職場見学会を年2回開催しています。

保護者の方に、働くことを通じて成長していく姿を見ていただくことで、職場へのご理解を深めていただき、安心して長く働いていただける関係を築いてまいります。



作業見学風景

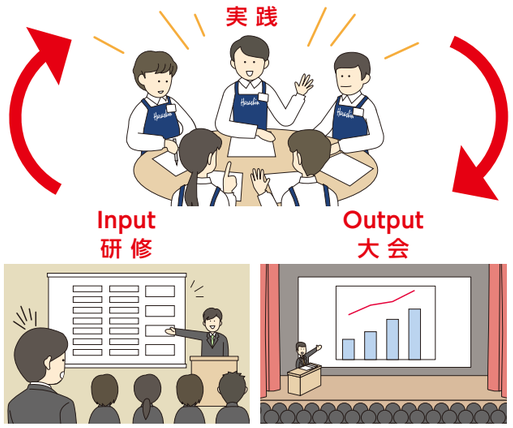
現場改善に向けた取り組み

TQM(総合的品質管理)

TQM(Total Quality Management)は経営理念を実現させるため、全員が一人ひとりの立場に応じてより良い仕事を継続的に行うための仕組みです。

中期経営計画に基づいた年度方針の達成に向け、判断の基準はお客様の姿勢で、QCサークル、SUM※(プロジェクトや委員会なども含む)で継続的に改善しています。

※Service(サービス)Up(アップ)のためのManagement(マネジメント)活動の略。アクシアル リテイリング独自の用語。



2019年度 TQM活動での表彰

一般財団法人 日本科学技術連盟様 主催

事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門全日本選抜QCサークル大会　金賞

【受賞者】原信新津店「秋葉」サークル

2019年6月に開催された、第12回事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門全日本選抜QCサークル大会において、最高賞である金賞を受賞しました。

アクシアル リテイリンググループの金賞受賞は、5年連続6回目です。



QCサークル群馬地区チャンピオン大会　県知事賞

QCサークル関東支部改善事例チャンピオン大会　支部長賞金賞

【受賞者】フレッセイ板倉店「百獣の猫」サークル

2019年11月に開催された、第6191回QCサークル群馬地区チャンピオン大会において、最優秀賞にあたる群馬県知事賞を受賞しました。

その後2020年2月に開催された、第6209回QCサークル関東支部改善事例チャンピオン大会においては最優秀賞にあたる支部長賞金賞を受賞しました。

フレッセイの金賞受賞は2年連続2回目です。



第2回スーパーマーケットにおける品質改善成果発表大会

一般社団法人全国スーパーマーケット協会様主催による日ごろの品質改善活動の成果を発表する大会が開催されました。大会では全国スーパーマーケット協会正会員の10社が事例発表を行いました。

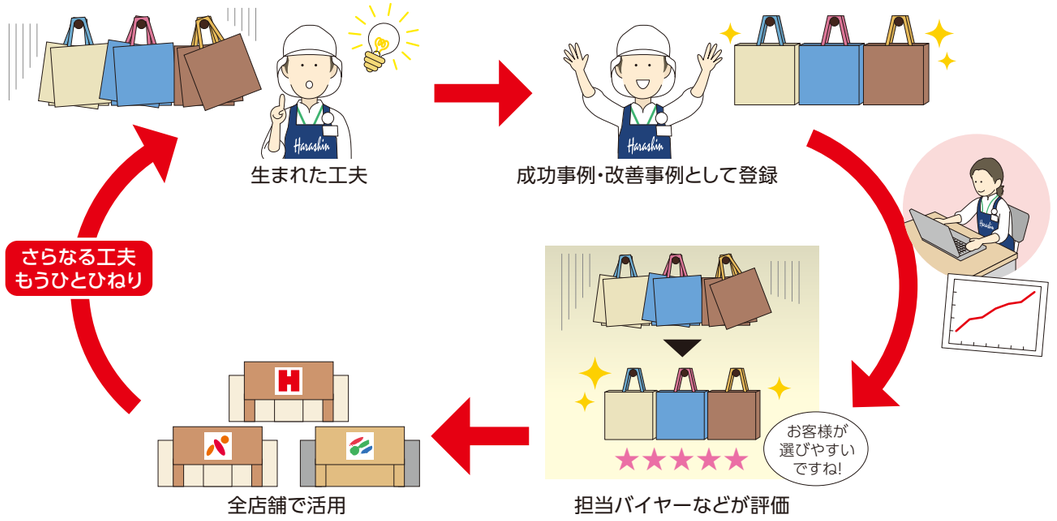
原信からは来迎寺店デイリー部門、フレッセイからは沼田恩田店農産部門が事例の発表を行いました。



成功事例・改善事例

アクシアル リテイリングでは、店舗従業員が売場づくりを工夫し、成果のあがった事例を「成功事例」と呼んでいます。また、より一層のサービス向上、より安全かつ効率の良い作業につながる工夫については「改善事例」と呼んでいます。

これらの事例は、独自のシステムを用い、全店舗で共有できる仕組みが整備されています。また優れた取り組みを評価、表彰をすることで、従業員のモチベーションアップにもつながっています。



関連会社の取り組み　株式会社アイテック【情報処理及びソフトウェアの開発業務】

内部監査員のブラッシュアップ

アイテックの情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)では、毎年8月に定期内部監査を実施しております。監査員の力量にバラつきがあったことから、ISMS導入当時のリスクアセスメントを知らないことが原因の一つと考え、当時の手法教育を実施しました。その結果、外部審査において高評価をいただきました。

地域の一員として

原信サマースカラシップ

1991年にスタートした原信サマースカラシップは、28回を迎えました。この取り組みは、原信を育てていただいた地域の皆様へ恩返しがしたいという思いと、より多くの若者が異文化に触れ視野の広い人間に育って欲しいという願いから始まりました。

日米で16名の高校生が参加し、長岡市の姉妹都市である、アメリカ・テキサス州フォートワース市の高校生と長岡市の高校生がペアとなり、お互いにホームステイをすることで、両国の文化の違いを体験しました。



剣道体験／茶道体験
書道体験

高校生の職場体験

複数の高校と連携し、店舗で職場体験の受け入れを行っています。普段お客様として利用しているお店で実際に作業を体験することで、仕事の面白さや大変さを実感できる場となっています。「進路を考えるきっかけになった」と体験後の声が寄せられています。



商品陳列作業体験

高校生との商品開発・販売

「地域活性化包括連携協定締結企業との共同開発商品発表会」において、桐生商業高校3年生の皆様と共同開発したアイデア商品「上州ベーグル」のPRを行いました。商品はベーカリーコーナーがあるフレッセイ33店舗にて2020年1月末まで販売しました。



上州ベーグル



商品開発担当者と開発した高校生

インターンシップ

仕事の実体験を通じて当社の企業活動や社会的役割、チェーンストアの魅力を知ることを目的に、大学生インターンシップを受け入れています。

1日の短期プログラムの他、夏休みを利用した10日間プログラムや新潟大学キャリアセンター様と連携した2か月間に亘るインターンシップなどバリエーションを増やし実施しました。店舗作業をはじめ商品開発、店長の仕事を学び、物流センター見学や秋冬をイメージしたサラダ提案も行いました。



プライベートブランド商品食べ比べ

『弁当の日』活動支援

「子どもが作る『弁当の日』」の活動を応援しています。活動の一つとして、地域の小学校と連携して調理教室や魚の下ごしらえ教室を実施しました。

今後も調理を通じて「食の大切さ」「感謝のこころ」を醸成することで、地域貢献のお手伝いと『弁当の日』の取り組みを推進していきます。



調理教室



お弁当作り

小学生の社会科見学

小学生の社会科見学を受け入れています。商品の入荷の様子や、商品を製造するうえで注意している点、店頭で回収している資源のリサイクルなどを説明しています。



納品方法の説明

みんな食堂のお手伝い

長岡市が推進している孤食を防ぐための取り組みとして「みんな食堂」の活動が地域で広がっています。原信では、調理のお手伝いとして店舗で不要となる食材を提供しています。
（長岡市内5店舗で実施）



食事のようす

子育て支援事業への協賛

自治体や民間団体の子育て支援事業に、お買上げ金額の5%割引や独自のクーポン配布という形で参加しています。また他県の子育て支援カードのご提示でも、店舗のある地域で行なっている対象サービスを提供いたします。



全国共通
子育て支援マーク



トキっ子くらぶ
（原信・ナルスクーポン）

高齢者支援

各地域で65歳以上のお客様への特典サービスを行っています。原信では、毎週木曜日と年金支給日にお買い上げ金額から5%引きする「いきいきシルバーズデー」、ナルスでは年金支給日に「シニア会員ポイント5倍デー」を行っています。

またフレッセイの桐生・沼田地区の店舗では、毎週火曜日に「ぐーちょきシニアパスポート5%引きの日」を開催しております。



いきいき
シルバーズデー
（原信）



シニア会員ポイント
5倍デー
（ナルス）



ぐーちょきシニア
パスポート
（フレッセイ）

地域の一員として

ライフラインとしての役割～コロナウイルス対応～

地域の食生活を担う食品スーパーマーケットとして、ご来店いただくお客様と従業員の安全・安心を最優先に考えた取り組みを行っています。取り組みをすすめることで、店舗を出来る限り通常に近い形で営業し、食生活を支えるインフラとしての責任を果たしながら、日常の生活の中で楽しみや喜びを感じていただけるように努めています。

また、外出自粛影響でお困りになられている産地・市場・業務用卸・観光物産メーカー等の販路拡大支援として「広げよう支援の輪 がんばろう!日本。」の取り組みも行っています。在庫が過剰になっていた和牛や国産牛、養殖真鯛、養殖ぶり、観光地おみやげ菓子などを全店または限定店舗で販売いたしました。


支援の輪

原信・ナルス ウォーキングDAY

原信とナルスでは、お客様の健康を「食事」の面だけでなく、「運動」についてもサポートすることによって、より健康的な暮らしに寄与することを目的に、「原信・ナルスウォーキングDAY」を開催しています。


原信・ナルスウォーキングDAY

インスタグラムフォトコンテスト

原信とナルスでは、お客様に参加いただく企画として、インスタグラムを利用したフォトコンテストを開催しています。

※「Instagram」は、Instagram,LLCの商標または登録商標です。



店舗見学会の開催

原信とナルスでは、新規出店地域の皆様向けに、開店前の店舗見学会を開催しています。この取り組みは、食品スーパーマーケットとして日々ご利用いただく商品の味をご確認いただくだけではなく、社会的使命である環境に対する取り組み説明や、普段はお客様が立ち入ることのできない店舗作業室をご覧にいただくことで、地域の皆様からご納得いただき、安心してご利用いただくことを目的としています。


おすすめ商品のご紹介

原信ミュージアム

原信では「まちごと美術館ことこと」様とコラボレーションして、障がいのある方が制作したアート作品をカフェコーナーで展示する「原信ミュージアム」を開催しています。
（新潟市・長岡市・柏崎市内計6店舗）


原信ミュージアム



ポスター

思いやり駐車場への共感看板設置

フレッセイでは、2017年5月より優先駐車場に車いすと杖を利用する方の笑顔の写真に「空けてくれててありがとう」との感謝の言葉を添えた共感看板を設置しています。

この導入は群馬県では初めての取り組みとなり、健常者による駐車の抑止に一定の効果が検証されたことから、栃木県、埼玉県の店舗も含め25店舗に65台設置しました。なお、原信の一部店舗にも設置しました。



共感看板

備災の取り組み

災害時に最低限必要な備蓄商品や常備用品の提案と、日常生活の中で消費しながら買い足すサイクルの提案を行っています。原信とナルスでは、毎月第1土曜日にチラシで呼びかけています。


備蓄商品

災害協定の締結

新潟県内9市と群馬県及び群馬県内4市の計14自治体と災害協定を締結しています。

2019年度は新たに沼田市と災害時における物資の供給協力に関する協定を締結しました。



沼田市災害協定調印式

地域のお祭り協賛

地域の皆様とのつながりを大切にし、地域のさらなる活性化に貢献できるよう、出店地域を中心に各地のお祭りに協賛しています。

なお原信では、日本三大花火大会の一つである長岡まつり大花火大会にて、戦争で亡くなった人の慰霊と復興に尽力した先人への感謝、世界平和を願う想いを込め、正三尺玉三連発を打ち上げております。


正三尺玉（写真：長岡花火財団様提供）

「米百俵の想い御膳」で子どもたちの未来応援

原信では、長岡まつり期間限定で「米百俵の想い御膳」を長岡市内店舗を中心に米百俵の故事を紹介するしおり付きで、販売しました。

この御膳は長岡名物「醤油赤飯」「栃尾の油揚げ焼」や原信・ナルス名物「手作りおはぎ」などを詰め合わせたお弁当で、その売上金の一部を長岡の子どもたちの未来応援に取り組む公益財団法人長岡市米百俵財団様へ寄付いたしました。


米百俵の想い御膳


売上金の一部を寄付

地域の一員として

原信ナルス会

2019年9月に第13回原信ナルス会が開催されました。会員353社様が参加され、経営方針の説明と2件のQCサークル事例発表の後、情報交換会が開催されました。



原信ナルス会総会

フレッセイ共栄会

2019年5月に、フレッセイ共栄会が開催されました。京都妙心寺退蔵院副住職の松山大耕氏をお招きし、「変化と不変の中にある本質～異分野から経営のアタリマエを見直す～」をテーマにご講演いただきました。


フレッセイ共栄会

義援金の寄託

2019年10月に発生した台風19号・台風21号において被災された皆様の生活の早期復興に役立てていただくため、お客様よりご協力いただいた募金と当社義援金計500万円を株式会社シジシージャパン様を通じて被災地にお届けいたしました。

公益財団法人 日本互尊社

原信が支援しています公益財団法人日本互尊社は、管理・運営している如是蔵博物館の土地、建物、収蔵品等について、長岡市へ寄付いたしました。

これは、河井継之助、小林虎三郎、山本五十六、斎藤博、小原直、水島爾保布といった長岡が誇る人物に関する資料と、第2回長岡市都市景観賞を受賞した如是蔵博物館等の建物が、長岡市にとって貴重な財産であると認識し、未来へ向けて、より大きな貢献が期待できると考え行ったものです。


長岡市への寄付

公益財団法人 長岡社奨学会

新潟県の教育振興や県民福祉増進への寄与を事業目的とする長岡社奨学会の運営を支援しています。

学資の貸与または給付のほか、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流などへの資金援助も行っています。

フードバンク活動支援

原信では、賛助会員としてNPO法人フードバンクにいがた様の取り組みを支援しています。

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

アクシアル リテイリンググループ全社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、意思決定の迅速化と透明性・公平性の確保を図り、責任体制を明確化するとともに、法令や社会的規範の順守及び内部統制システムも含めた企業倫理の整備に努めることです。

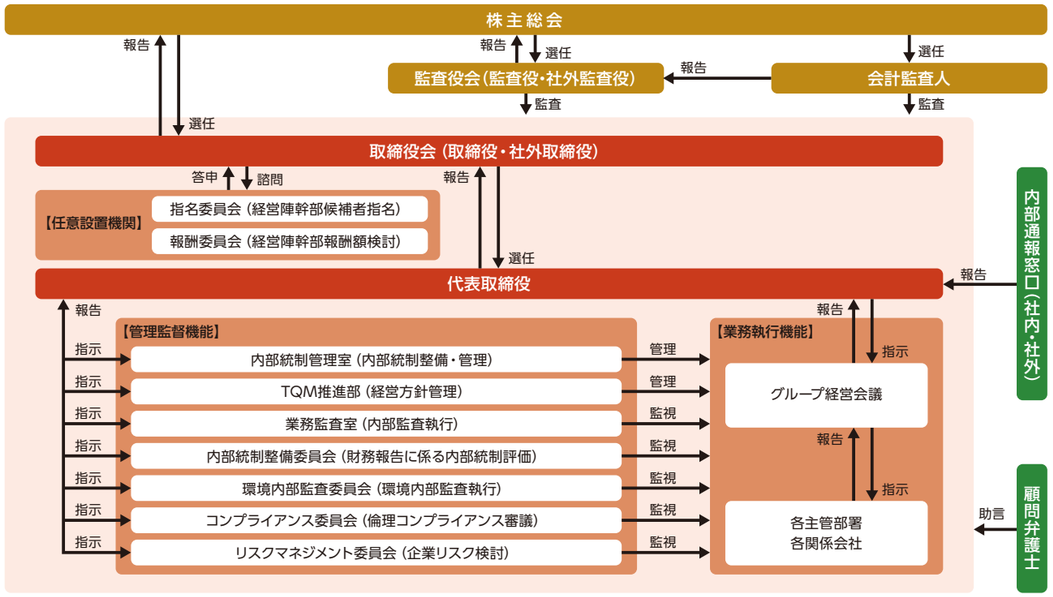
経営における最も重要な事項は、地域のお客様に反復継続して店舗をご利用していただけるかであり、常勤の取締役は日常的に販売現場の実態を正確に把握すべく活動し、お客様の変化にいち早く対応できるようにスリムでフラットな経営管理組織を構築しています。

現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

経営に関する意思決定と業務執行の役割を明確化し、企業集団全体の業務執行体制について、迅速かつ機動的な経営戦略の実現を図るとともに、責任を明確化しコーポレート・ガバナンス体制を強化することを目的として、2007年5月より執行役員制度を導入しています。

コーポレート・ガバナンスについてはこちらから
https://www.axial-r.com/ir/cg

コーポレート・ガバナンス体制についての模式図



倫理・コンプライアンス

お客様をはじめ、企業、団体、関係機関などから高く信頼され、永続的な発展を継続するための企業統治の確立を目的として、倫理・コンプライアンス管理規程の中に行動指針を定めています。

この内容は、具体的な解説を付け加えた倫理・コンプライアンス管理規程解説書として発行し、全グループ会社の全従業員に年1回以上教育を行っています。

環境と人に配慮した店舗づくり

インプット

燃料（石油類）
重油 27kℓ
灯油 32kℓ
軽油 3,246kℓ
（配送車輌、自家発電）

電気
192,562MWh
電力会社から購入し、使用した電力の総量

紙
20t
本部で使用したコピー用紙、コンピュータ用紙の総量

水
808,225㎥

ガス
417,841㎥

アウトプット

排水
808,225㎥

CO_2
99,302t
電気、ガス、燃料の使用に伴って発生した二酸化炭素の総量

産業廃棄物
1,904t
再資源化率 82.30%

事業活動によって生じた廃棄物のうち「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
廃　油	398	398
廃発泡スチロール	401	401
グリーストラップ汚泥	953	677
その他産業廃棄物	151	91
合　計	1,904	1,567

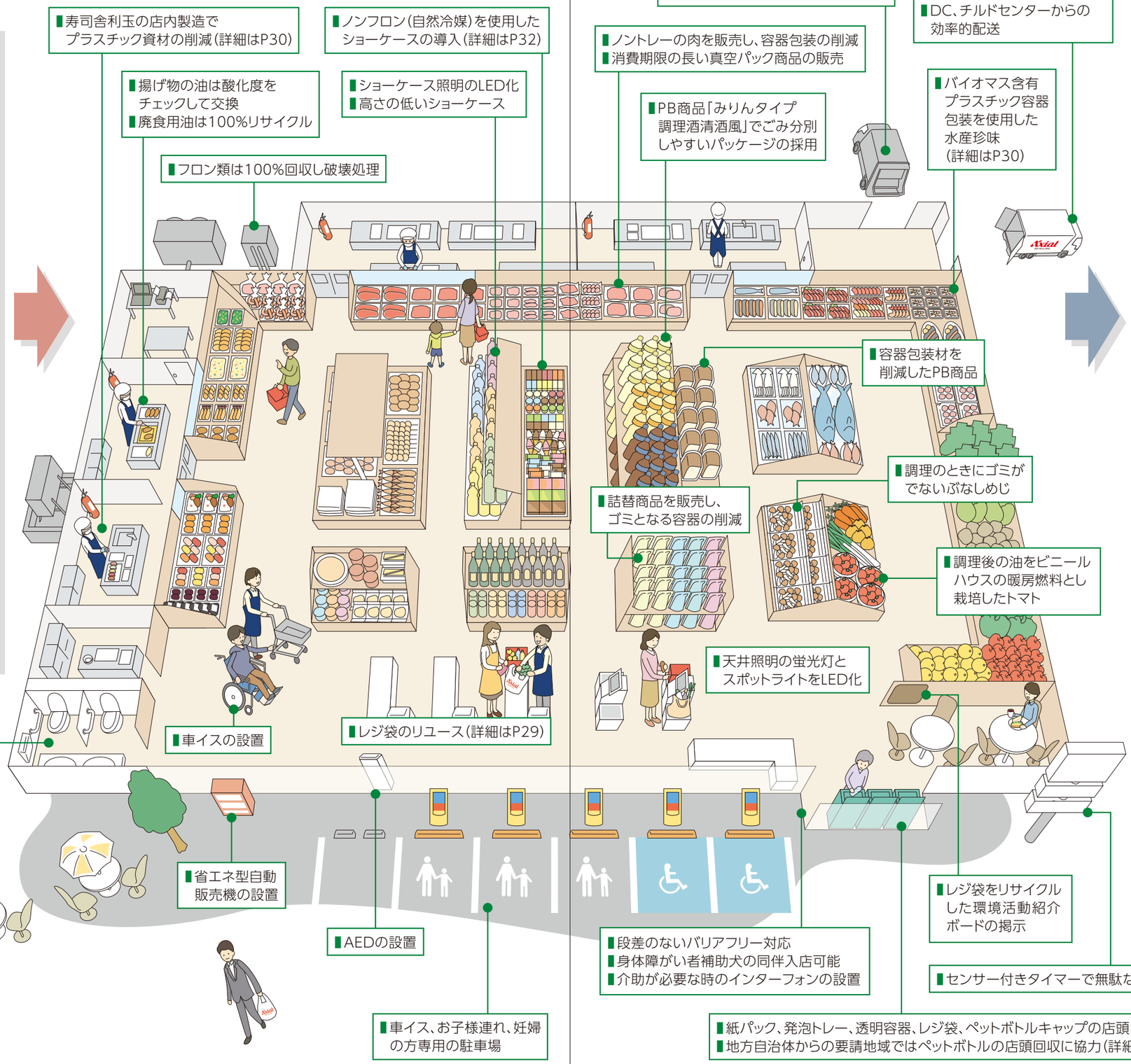
一般廃棄物
23,136t
再資源化率 73.3%

紙くず、段ボール、厨芥物など、事業活動によって生じた廃棄物のうち、産業廃棄物を除く廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
生ごみ	5,150	3,306
紙くず	4,193	67
不燃物	208	0
ビン	26	26
段ボール	12,990	12,990
アルミ・スチール缶	188	188
ペットボトル	381	381
合　計	23,136	16,958

リサイクル回収量(t)

レジ袋	16
発泡トレー	238
透明容器	447
紙パック	326
ペットボトル	266
ペットボトルキャップ	84



- 寿司舎利玉の店内製造でプラスチック資材の削減（詳細はP30）
- ノンフロン（自然冷媒）を使用したショーケースの導入（詳細はP32）
- ごみは地域にあわせて適正処理
- 食品残渣はリサイクル（詳細はP28）
- デジタルタコメーターの導入
- アイドリングストップの推進
- DC、チルドセンターからの効率的配送
- ノントレーの肉を販売し、容器包装の削減
- 消費期限の長い真空パック商品の販売
- 揚げ物の油は酸化度をチェックして交換
- 廃食用油は100%リサイクル
- ショーケース照明のLED化
- 高さの低いショーケース
- PB商品「みりんタイプ調理酒清酒風」でごみ分別しやすいパッケージの採用
- バイオマス含有プラスチック容器包装を使用した水産珍味（詳細はP30）
- フロン類は100%回収し破壊処理
- 容器包装材を削減したPB商品
- 詰替商品を販売し、ゴミとなる容器の削減
- 調理のときにゴミがでないぶなしめじ
- 調理後の油をビニールハウスの暖房燃料とし栽培したトマト
- 天井照明の蛍光灯とスポットライトをLED化
- 節水バルブ内蔵の便器
- 節水自動水栓の手洗い器
- オストメイト対応のトイレ
- 授乳室の設置
- 車イスの設置
- レジ袋のリユース（詳細はP29）
- 省エネ型自動販売機の設置
- AEDの設置
- 車イス、お子様連れ、妊婦の方専用の駐車場
- 段差のないバリアフリー対応
- 身体障がい者補助犬の同伴入店可能
- 介助が必要な時のインターフォンの設置
- レジ袋をリサイクルした環境活動紹介ボードの掲示
- センサー付きタイマーで無駄な電気の削減
- 紙パック、発泡トレー、透明容器、レジ袋、ペットボトルキャップの店頭回収
- 地方自治体からの要請地域ではペットボトルの店頭回収に協力（詳細はP29、31）

持続可能な社会の実現に向けて
～食品廃棄物～

SDGs(Sustainable Development Goals)は国連が採択した「持続可能な開発目標」で、17の目標で構成されています。

アクシアル　リテイリングでは、食品廃棄物・食品ロス、レジ袋・容器包装の削減などの環境保全の取り組み、働きやすい環境づくりなどに取り組んでおりますが、SDGsの考え方を経営の中に取り込み持続可能な社会の実現に向けた取り組みを更に深めてまいります。

なかでも食品廃棄物については、SDGsの目標を受け、日本でも2030年にサプライチェーン全体で2000年度比の半減が目標とされており、再生利用等の実施率目標については食品小売業で60%とされています。

アクシアル　リテイリングでもこの目標の実現に向け、食品廃棄物の発生抑制とリサイクルの取り組みを推進してまいります。

■「にいがたSDGsフォーラム2020」事例紹介

2020年2月18日に新潟日報社様主催で行われた「にいがたSDGsフォーラム2020」において、食品ロス削減の取り組みを含む原信・ナルスのSDGsの取り組みを紹介いたしました。



フォーラムでの事例紹介
(写真:SDGsにいがた提供)

■賞味期限の年月表示化

商品の賞味期限は、製造から3か月を超える場合、食品廃棄物削減につなげるため、日付のない年月表示が推奨されています。

当社のプライベートブランド商品でも年月日表示としている商品がありましたが、年月表示が適切と判断した商品については、適宜、表示の切り替えを行っています。



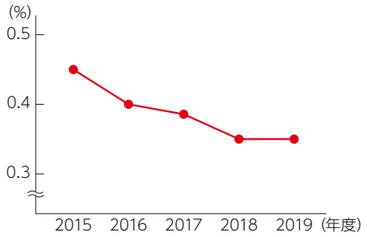
年月表示

■食品廃棄物の発生抑制

データに基づいた商品製造数・発注数の決定、研修による商品作りの技術向上などにより、食品廃棄物を発生させない取り組みを進めています。

なかでも原信とナルスでは、環境マネジメントシステムの環境目標に「食品廃棄物の発生抑制」を掲げ、廃棄率(売上金額に対する廃棄商品金額の率)を管理数値に定めて低減に努めています。その結果、2019年度は廃棄率0.35%に改善しました。

廃棄率の推移



従業員の声

食品廃棄物発生抑制の目標値達成に向け、適正発注と適正在庫の維持、および廃棄作業に対する仕組みづくりに取り組んでいます。

開始後2か月で在庫日数を約0.5日削減、廃棄率は0.4%に削減出来ました。廃棄作業そのものに部門メンバー全員が関わることで、結果数値のみを共有するよりもはるかに意識の向上が図れています。



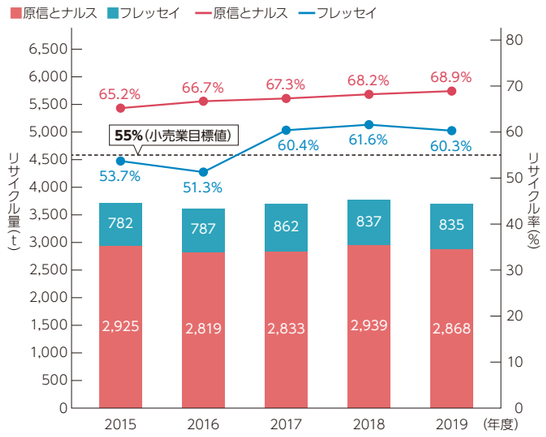
原信 宮内店
青果部門 チーフ
渡辺一夫

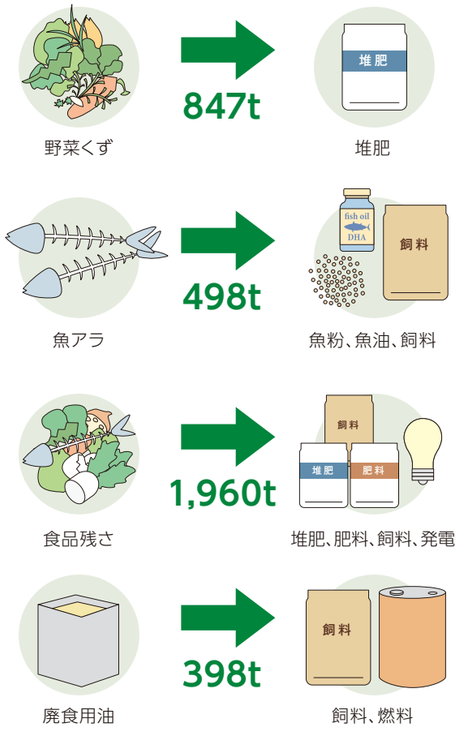
■食品廃棄物のリサイクル

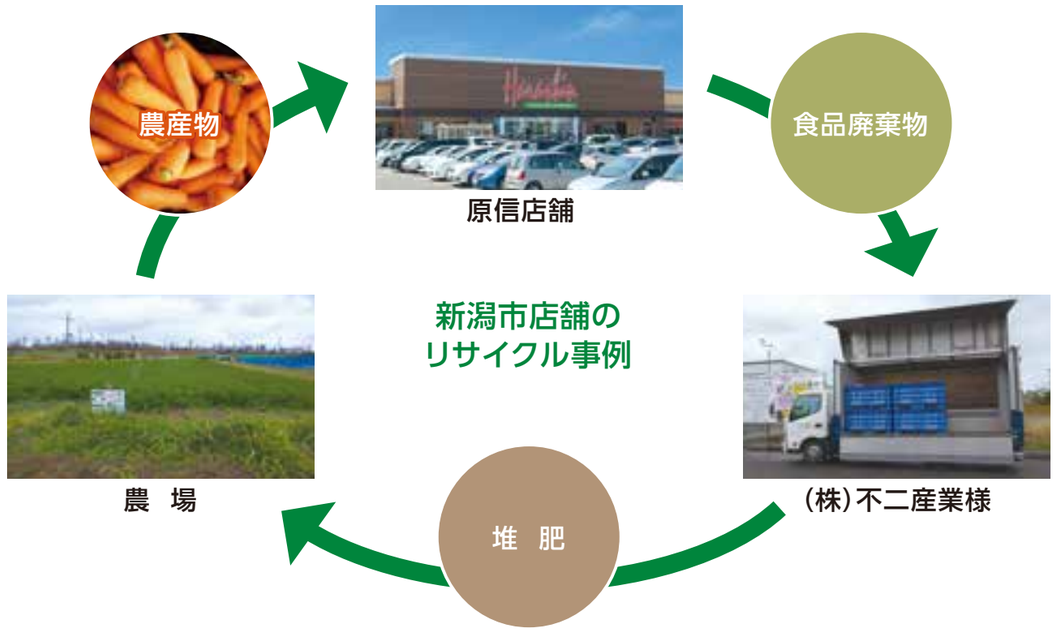
食品廃棄物は出来る限りリサイクルをしています。2019年度は新たに12店舗でリサイクル品目の拡大、1店舗で新規取り組みを開始いたしました。

リサイクル率100%達成を目指し、今後も各社で情報共有をしながら取り組みを推進していきます。

食品廃棄物(廃食用油含む)のリサイクル量および率







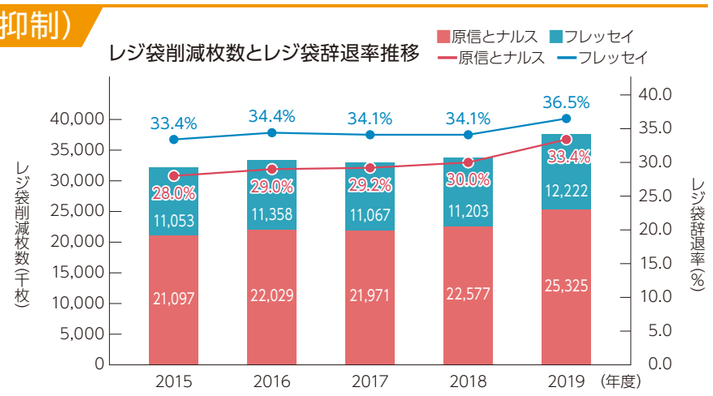
持続可能な社会の実現に向けて
～レジ袋の3R活動～

多くのお買い物シーンで活躍してきたレジ袋。しかし海洋プラスチック汚染問題は地球規模での課題となり、ワンウェイプラスチックなど、使い捨て型ライフスタイルの見直しは、食品スーパーにとって大きな責務のひとつとなりました。

アクシアル　リテイリングでは、レジ袋の3R活動を通じて、不要なレジ袋の使用を抑制してきました。これからも限りある資源の保護と持続可能な社会の実現に向け、レジ袋の削減に取り組みます。

リデュース!レジ袋（発生抑制）

不要なレジ袋を削減するため、お客様のお買い上げ量に適したレジ袋を使用するように努めています。原信とナルスのレジでの袋詰めサービスは、レジ袋の使用枚数抑制にもつながっています。



リユース!レジ袋（再使用）

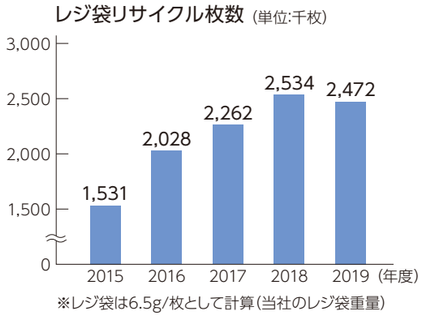
一度お使いいただいたレジ袋をマイバッグ代わりに使用いただく取り組み「リユース!レジ袋」を推進しています。

またレジ袋を透明にすることで、自治体のゴミ袋として再度ご利用いただけるようにしています。

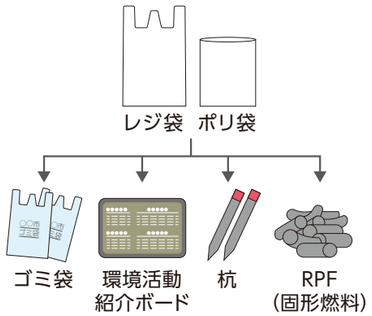


リサイクル!レジ袋（再資源化）

原信とナルスでは、不要となったレジ袋を店頭で回収してリサイクルをしています。またお買い上げ時にお客様がご利用になったポリ袋もあわせて回収しています。



※レジ袋は6.5g/枚として計算（当社のレジ袋重量）



持続可能な社会の実現に向けて
～容器包装の見直し～

商品のプラスチック製容器包装は、商品の品質保持の延長などに貢献することなどから、私たちの生活に無くてはならないものとなりました。その一方で、多くの素材が使用されていることから、リサイクルが難しい容器包装が多いことも事実です。

アクシアル　リテイリングでは、容器包装として使われるプラスチックを出来る限り削減できるよう、容器包装の薄肉化などに取り組んでいます。

また新たな取り組みとして、生物由来のバイオマスプラスチックを使用した容器包装の導入も進めています。これは、地球温暖化防止や化石資源への依存度低減にも貢献することを期待しての取り組みです。





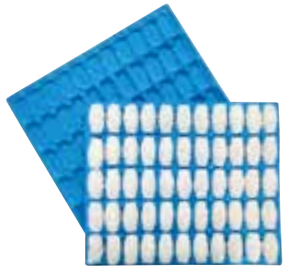
バイオマスプラスチックトレーを使用した商品

■プラスチック資材削減の取り組み

使い捨てのプラスチック資材の削減のため、お寿司の舎利玉を店内作業場で製造する方法に変更しています。

以前は、グループ企業のローリーで舎利玉を一括製造し、シートに包装して各店舗に納品、その後シートは廃棄していました。

この取り組みにより、年間約21tものプラスチックが削減できました。



削減を進める舎利玉シート



舎利玉製造機

関連会社の取り組み

株式会社原興産【清掃・リサイクル、保険契約に係る保険代理店】／**力丸流通サービス株式会社**【清掃・リサイクル】

ポリスチレン（PS）インゴットの安定した再資源化供給

店舗より回収する発泡スチロールを加熱することで容積を減らし製品原料にリサイクルしています。なお原興産では、店頭回収した発泡トレーもリサイクルをしています。

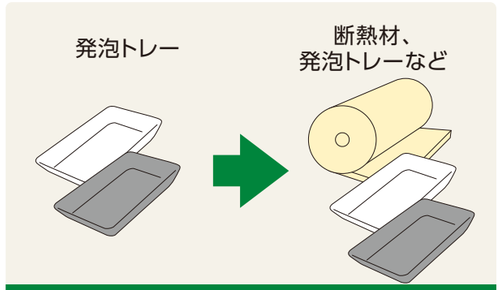
原興産では出来上がったこのPSインゴットと呼ばれる原料を、国内と海外の二つのリサイクルルートに出荷しています。従来の海外出荷のみから国内へも拡大することで、政治経済情勢の影響を受けにくい安定した再資源化が行えるようになりました。



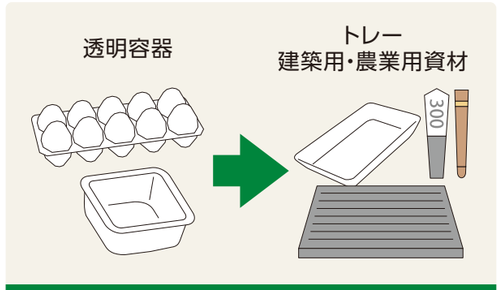
PSインゴット

持続可能な社会の実現に向けて
～店頭回収資源～

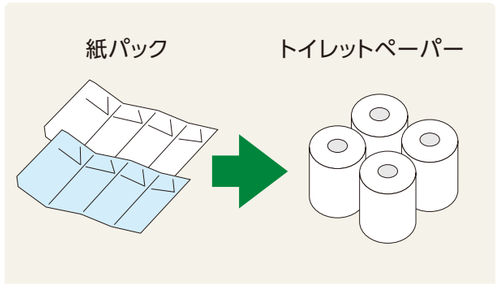
アクシアル　リテイリングでは、店頭の回収ボックスにて資源を回収しリサイクルをしています。これからもお客様とともに活動をすすめ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



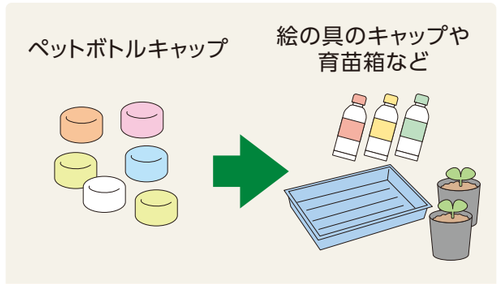
回　収　量　238t
CO_2削減量　1,445t-CO_2



回　収　量　447t
CO_2削減量　1,725t-CO_2



回　収　量　326t
CO_2削減量　161t-CO_2

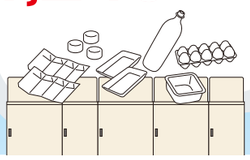


回　収　量　84t
CO_2削減量　27t-CO_2



回　収　量　266t
CO_2削減量　890t-CO_2

皆様のご協力により
CO_2削減量
4,248t-CO_2



※CO_2削減量は環境省「3R行動見える化ツール」より算出。なおペットボトルキャップは1kgあたりのCO_2削減量を3.15kg-CO_2として算出。

低炭素社会の実現

■自然冷媒ショーケースの導入拡大

オゾン層破壊効果の高い特定フロンに制限がなされてから、新たな冷媒として代替フロンが普及しました。しかしながら、この代替フロンはオゾン層の破壊はしないものの、高い温室効果を有することから、冷媒が大気中に放出された場合、地球温暖化に影響を及ぼすといわれています。

アクシアル　リテイリングでは、ショーケースからのフロン漏えいを管理するとともに、自然冷媒を使用したショーケースの導入を進めています。

2019年度は新たに28店舗にて、アイス売場ケース冷媒をプロパン冷媒の機器に入れ替えました。



自然冷媒ショーケース

■物流におけるエネルギーの削減

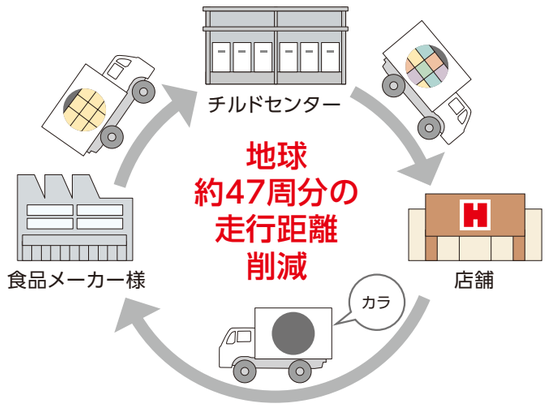
商品を店舗に配送するトラックについては、出来る限り荷台が空の状態で走ることがないように工夫しています。

具体的には、店舗に商品を配送し終えたトラックが、その店舗近隣のお取引先様の工場に向かいます。そしてお取引先様の商品を積み込み、当社チルドセンターに帰ってきます。

この取り組みにより、お取引先様が当社向けにトラックを走らせる必要がなくなり、物流網全体で燃料の削減につながります。



お取引先様にて商品の積み込み



関連会社の取り組み　高速印刷株式会社【チラシ印刷他、テレビCMの企画制作】

グリーンプリンティング工場の認定、更新

グリーンプリンティング認定制度とは、印刷業界の環境配慮自主基準に基づき、その基準を達成すると認定される制度です。当社では2008年より認定を受けています。

今後も環境に配慮した印刷事業を展開し、限りある資源の有効活用と水と空気を汚さない取り組みを推進していきます。



GP工場認定証

環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

環境保全コスト

（単位:千円）

分類		主な取り組みの内容	2018年度 投資額	2018年度 費用額	2019年度 投資額	2019年度 費用額
(1)事業エリア内コスト		——	267,038	367,321	320,669	492,671
内訳	(1)−1公害防止コスト	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など	211,034	83,946	60,509	88,444
内訳	(1)−2地球環境保全コスト	LED照明工事など	56,004	51,784	260,160	127,953
内訳	(1)−3資源循環コスト	廃棄物処理費、生ゴミリサイクル費など	—	231,591	—	276,274
(2)上・下流コスト		容器包装リサイクル法再商品化委託料、レジ袋不使用2円引き費用	—	94,089	—	103,708
(3)管理活動コスト		ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	7,042	31,731	8,000	35,331
(4)研究開発コスト		——	—	—	—	—
(5)社会活動コスト		各種組合費など	—	170	—	76
(6)環境損傷対応コスト		PCB処理委託費用	—	—	—	385
合計		——	274,080	493,311	328,669	632,171

※対象企業：原信、ナルス
※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標（単位）	2018年度	2019年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量（MWh）	193,147	192,562
	ガス使用量（千㎥）	472	418
	重油使用量（kℓ）	41	27
	灯油使用量（kℓ）	78	32
	軽油使用量（kℓ）	3,194	3,246
	水使用量（千㎥）	828	808
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO_2排出量（t−CO_2）	102,340	99,302
	廃棄物総排出量（t）	25,350	25,040
	廃棄物最終処分量（t）	6,845	6,515
	排水量（千㎥）	828	808
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量（t）	16	16
	紙パック回収量（t）	322	326
	発泡トレー回収量（t）	229	238
	透明容器回収量（t）	392	447
	ペットボトルキャップ回収量（t）	79	84
	ペットボトル回収量（t）	247	266

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

環境保全対策に伴う経済効果

（単位:千円）

効果の内容		2018年度	2019年度
収益	リサイクル品売却益	43,329	60,320
収益	店頭回収品売却益	7,466	8,203
費用節減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	19,699	21,216
費用節減	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	62,846	67,370
合計	——	133,340	157,109

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

〈アクシアル リテイリングのあゆみ〉

原信
創業：1907年（明治40）
原信吾が原蝋燭（ろうそく）店を長岡市で開業。西洋ろうそくを扱う。家の明かりを灯すろうそくを一品一品ていねいに、大切につくりあげる。戦後はせとものを取り扱い、バラエティストアへと転身。いつの時代もお客様の生活に必要なものに対応し、変化し続けてきた。

ナルス
創業：1948年（昭和23）
成澤芳雄がこんにゃく・豆腐製造の成沢商店を直江津市で開業。「為せば成る」の心をもとに、「主婦の店」、その後「主婦の店ナルス」としてスーパーマーケットを運営。

フレッセイ
創業：1850年（嘉永3）
植木文左衛門が海のない地域の方々においしい魚を提供したいという想いから、鮮魚塩干物の卸小売業「松葉屋」として創業。

年	
1950	フレッセイ：**（株）松清本店設立**
1958	フレッセイ：スーパーマーケット創業
1959	ナルス：**主婦の店直江津店開店**（スーパーマーケット創業）
1967	原信：**（株）原信 設立**（スーパーマーケット創業）
1974	フレッセイ：CGCグループ加盟
1979	原信：CGCグループ加盟 ナルス：商号を（株）ナルスに変更
1983	原信：TQC導入
1988	原信：新潟証券取引所に上場
1990	ナルス：新・ロゴマークの採用
1991	原信・福屋・こたやの3社合併、新生原信誕生 TQCを軸としたHTS活動開始 「原信サマースカラシップ」スタート
1992	フレッセイ：商号を（株）フレッセイに変更
1996	原信：中之島物流センター開設
1997	原信：新・ロゴマークの採用 長期ビジョン「2010 VISION」策定
1999	原信：レジでの袋詰めサービス開始 フレッセイ：FIC（フィック）活動（フレッセイ改善活動）キックオフ
2000	東京証券取引所2部に株式上場 環境マネジメントシステムISO14001認証取得
2001	ニューコンセプト導入 （簡単便利+もっと豊かにをコンセプトとした店舗づくり） フレッセイ：フレッセイポイントカード全店導入
2003	原信：はらしんカード（クレジットカード）取り扱いスタート ナルス：ナルスカード導入 フレッセイ：フレッセイカスタマーカード導入
2004	7・13水害（2店舗浸水） 中越地震発生（44店舗中22店舗被災、3店舗閉鎖） フレッセイ：アップグレード型業態出店
2005	フレッセイ：障害者雇用優良企業 厚生労働大臣賞受賞
2006	原信ナルスホールディングス：HTSをTQMに名称変更（ナルスTQM活動スタート） 株式会社ナルスと経営統合 原信ナルスホールディングス株式会社を設立
2007	原信ナルスホールディングス：東京証券取引所1部に指定替え 第1回原信ナルス会開催 中越沖地震発生（7店舗被災） フレッセイ：キャリア教育文部科学大臣賞受賞
2008	原信ナルスホールディングス：ナルス ISO14001認証取得（適用範囲の拡大） 上越物流センター開設
2009	原信ナルスホールディングス：長期ビジョン「Advanced Regional Chain」策定
2010	原信ナルスホールディングス：ニューコンセプトⅡ（NCⅡ）スタート （毎日の食生活を豊かに楽しくするような提案のできるスーパーマーケットづくり）
2011	原信ナルスホールディングス：東日本大震災発生 （PB商品1個につき1円を被災地に寄付する『まごころの1円プログラム』） 原信ネットスーパースタート 新潟県優良リサイクル事業所表彰受賞 フレッセイ：株式会社フレッセイホールディングス設立
2012	原信ナルスホールディングス：川崎店グロサリー部門「抹茶ラテラテサークル」がQCサークル石川馨賞を初受賞 フレッセイ：MITHS（ミッツ）活動（QCサークル）スタート 移動販売車「フレッシー便」介護施設や団地巡回開始
2013	アクシアル リテイリング：株式会社フレッセイホールディングスと経営統合し、アクシアル リテイリング株式会社を設立 3R推進功労者等表彰会長賞受賞 原信ナルス中之島DC開設 フレッセイ：TQM活動スタート
2015	アクシアル リテイリング：紺綬褒章受章 （関東甲信地区大雪災害における群馬県への義援金寄付により） ニューコンセプトⅡ+（NCⅡ+）スタート
2016	アクシアル リテイリング：株式会社格付投資情報センターより格付け及び方向性　A−（安定的）に格上げ フレッセイ：前橋物流センター開設
2017	アクシアル リテイリング：原信 スーパーマーケット創業50周年 フレッセイ：群馬県食育推進活動優良企業表彰受賞
2018	アクシアル リテイリング：代表取締役社長原和彦がQCサークル経営者賞を受賞 ローリー中之島プロセスセンター開設 フレッセイ：フレッセイ スーパーマーケット創業60周年
2019	アクシアル リテイリング：ナルス スーパーマーケット創業60周年
2020	アクシアル リテイリング：グループ新ビジョン「Enjoy! Axial Session♪」策定


原信東坂之上店開店（1967年）


SSM1号店の原信吉田店（1991年）


松清本店　セルフサービスの店創業当時を描いた絵

ナルス ロゴマーク（1990年〜）

フレッセイ ロゴマーク（1992年〜）

原信 ロゴマーク（1997年〜）

Harashin Narus Holdings
原信ナルスホールディングス ロゴマーク（2006年〜2013年）


原信ナルスホールディングス東証一部上場（2007年）
（左）原信一社長
（右）山崎軍太郎会長


アップグレード型業態として初出店した「クラシード若宮」店内


ニューコンセプトⅡの考えを取り入れ、アースカラーを基調とし、落ちついたイメージの店舗外観（原信美沢店）

アクシアル リテイリング ロゴマーク（2013年〜）


（左）山崎軍太郎会長
（中）原和彦社長
（右）植木威行副社長



